

全校集会校長講話(11月9日)

校長 鈴木 健史

まず、前回行った「インターネットゲーム依存」のスクリーニングテストの結果ですが、全校で13人があてはまるかもしれません。もし、自覚していて困っているという人がいたら、担任や養護教諭、スクール・カウンセラーの先生に相談してみてください。

話は変わりますが、皆さんは、少し先の未来でさえ予測が困難なVUCA（ブーカ）の時代を生きていかなければなりません。VUCAとは、「Volatility（ボラティリティ：変動性）」「Uncertainty（アンサートウンティ：不確実性）」「Complexity（コンプレキシティ：複雑性）」「Ambiguity（アンビグユイティ：曖昧性）」の頭文字を並べたものです。VUCAに込められた4つの単語が示す通り、VUCA時代とは変動性が高く、不確実で複雑、さらに曖昧さを含んだ社会情勢を示しています。

このVUCAの時代を生き抜くために、日本も加盟しているOECD（経済協力開発機構）は、「OECD Education 2030 プロジェクト」の中で、獲得した知識、スキル、態度・価値等（コンピテンシー）を一体化させて、「Agency（エージェンシー：より良い未来の創造にむけた変革を起こす力）」を備えていくべきだと提言しています。

この力は、「新たな価値を創造する力」、「対立やジレンマに折り合いをつける力」、「責任ある行動をとる力」から構成されていて、「AARサイクル（「Anticipation（アンティシペーション：見通し）」→「Action（アクション：行動）」→「Reflection（リフレクション：振り返り）」）を回しながら獲得していくものとイメージされています。

全体としてWell-being「ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的によい状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」を目指しながら、予測困難な時代を乗り越えていこうとするものです。

当然、日本の教育も影響を受けていて、小学校6年生と中学校3年生が毎年行う、全国学力・学習状況調査や大学入試の問題の変化から見て取ることができます。特に、2021年度から導入された大学入学共通テストでは、その傾向が顕著に見られ、英語では、発音や単語などの単純な語彙（ごい）問題は消滅し、代わりに日常生活で使う英会話が出題され、国語においては物語と評論の2つの文章を見比べることで答えを見つけるという「メタ認知：自分の認知活動を客観的にとらえる、つまり、自らの認知（考える・感じる・記憶する・判断するなど）を認知すること」を測る問題が出題されました。英語・国語・数学に限らず理科や社会も含めた全般で、「読み取らないといけない文章・グラフ・表」が増え、試験時間も増えています。

これはつまり、「知識や情報を持っているか」ではなく、「それらを活用して考える力があるか」を評価する形態に変わってきたということです。実際、2021年に慶應義塾大学では、「あなたが不条理だと思うことについて記載し、どうすればそれを解決できるか論じなさい。」という問いが出題され話題となったそうです。

高校入試も、基礎・基本を問うものではあるものの、変化しつつあります。全教科で大学入学共通テストと同様の傾向が見られるようになってきています。皆さんができる対策としては、「好きな教科」をつくることです。テストの点が伸びなくても「好きな教科」を大切にすることで、勉強が楽しくなります。楽しいと思えば自ずと深掘りするようになり、自信もつきます。また、高等学校で「総合的な探求の時間」等に発展する「総合的な学習の時間」では意識して、今までに獲得した知識やスキル、態度・価値等を駆使してまとめたり、発表したりすることです。3年生は受験生ですからのんびりはしてはもらえませんが、1、2年生は、まず、それが第一歩です。「好きこそもの上手なれ」ですよ。

ふるさと村上をもっと知るために

11月16日（木）に、1年生を対象に、塩引鮭づくり体験授業を行いました。村上の伝統文化である塩引鮭づくりを通して、村上の伝統文化の継承と郷土愛を育むことをねらいとして例年実施しています。今年は、学校長自らが塩引き鮭づくりの第一講師として包丁を握りました。

また、今年度も地域コーディネーター富樫さんが募った、塩引鮭づくりボランティアの方々7名を講師としてお招きしました。さらに、特別ゲストとして、鮭を提供くださっている瀬波温泉共栄会会長の鈴木茂光様、マスコットキャラクター「せなみん」も来ていただきました。

小学校での体験活動は一部のみで魚を直接扱うことはしなかったようでしたが、今回、ヌメリや内臓取り、塩の擦り込みなど、生徒は塩引き鮭づくりの全行程を体験することができました。悪戦苦闘していましたが、班で協力しつくることが出来ました。また、普段は見ることのない学校長の包丁さばきに、生徒達は驚いていました。



学校運営協議会について

11月14日（火）に、学校運営協議会が開催されました。学校長から双翼祭の成功の御礼と猛暑対策への経緯、部活動地域移行等、報告を行い、その後今年度上半期の学校の様子について生徒、保護者の学校評価アンケート、教職員による学校評価（知・徳・体・学校運営）を用いて学校、生徒の詳細な様子を情報交換しました。

委員の方からは「会議前の授業参観では、学校が非常に落ち着いている様子がよく分かった」「生徒が学習に一生懸命取り組んでいる」「学年担任制の良さを今後も生かしていただきたい」等の御意見を頂きました。引き続き、地域に誇れる村上第一中学校となるよう、尽力してまいります。



みんなの気持ちをつなげた、ほっとコミュニケーション集会

11月20日（月）に、村上南小、瀬波小6年生が来校し、ほっとコミュニケーション集会が開催されました。この集会は小中連携の取組の一つとして、児童生徒間のコミュニケーションを図る場とし、よりよい人間関係づくりについて考え、学校生活に生かすことを目的として行われました。

今年度は、新潟県のお笑い集団「NAMARAエンターテイメント」に所属の森下英矢さんをお招きし、「人にやさしく」という演題で、御講演いただきました。生徒が前に出て体験したり、全体の中で自分の考えを発表したりするなど、参加型の講演で最初から最後まで目を輝かせている姿がたくさん見られました。

講演会の後、異学年混合の小集団で、個々に感じたことや学んだことを共有し、よりよい人間関係を築くために自分たちにできることを話し合いました。集会の感想には「ポジティブな考え方をしていきたい。」「人の良いところをたくさん見つけていきたい。」という前向きな感想が書かれており、とても貴重な時間となりました。



人権教育、同和教育推進事業 授業研究会について

11月24日（金）に、村上市 教育委員会指定 人権教育、同和教育推進事業である、村上第一中学校区授業研究会を開催いたしました。当日は下越教育事務所より渡邊幸太指導主事、村上市教育委員会より鈴木正美主任嘱託指導主事、村山敬介嘱託指導主事を指導者にお招きし、授業研究会について御指導いただきました。また、人権教育、同和教育推進協議会委員や村上人権擁護委員協議会の委員の方々、村上第一中学校区の主任児童委員、民生委員の方々、市内外教育関係者の方々等、多くの方から御参観いただきました。

当日は1年2組、2年2組、3年3組の公開授業と、その授業について協議会を行いました。部落差別の課題に対してどの生徒も真剣に考え、感じたことや考えたことを意欲的に出し合っていました。今後も、中学校区で連携を深めながら職員の人権意識を高めるとともに、「豊かな人権意識をもち、差別問題の解消・克服に立ち上がる児童生徒」を育成していきたいと考えております。



SNS 講演会を開催します。

1人1台端末が導入されて3年が経ち、日頃から生徒がICT機器を操作することが日常の風景となりました。そのため、以前よりも情報リテラシーに触れる場面が多くなり、学校でも様々な機会を捉えてSNSの適切な使い方等を指導してまいりました。

しかし、今年度残念なことにICT機器の不適切な利用が、各学年で散見される事態となってしまいました。特にインターネット上の誹謗中傷については、芸能人の自殺等から社会問題にもなり、令和4年7月7日から侮辱罪の厳罰化が図られたところです。これら一連の流れを受け、この度後述の日程で緊急にSNS講演会を開催することとなりました。新潟県警のサイバー犯罪対策課の方を講師にお招きし、SNSの不適切な利用が引き起こす重大事態等について御指導いただきます。生徒には、「他の誰かのこと」ではなく、「知らず知らずのうちにやっつけてしまっているかもしれない自分事」として捉えてもらいたいと思います。

あわせて、生徒がICT機器やSNSを適切に使用するためには、保護者の皆様に御協力いただくことが必要不可欠です。講演会の開催にあたり、年末の御多用の最中とは存じておりますが、万障お繰り合わせの上、保護者の皆様からも御参会くださいますようお願いいたします。

日時：12月22日（金） 9:45～11:20

場所：村上第一中学校 第一体育館（社会体育玄関より御来場ください）

講師：新潟県警察本部 サイバー犯罪対策課

サイバーセキュリティ戦略係 江口 大和 様

各種入賞について

村上税務署長賞 M. Y : 今の自分は税金のおかげ

村上税務署管内税務団体連絡協議会長賞

. . . K. H : 税から感じた「不思議」と「気づき」

自転車登校と送迎について

12月に入り、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。先日は、日中にも雪がちらついておりました。このことから、今週より土日の部活動を含む自転車での登下校を禁止といたします。

また、学校への送迎につきまして、雨天や冬期間は保護者の自家用車での送迎が多くなります。お子さんの自家用車の乗り降りにつきましては、安全に十分注意していただき、校地内でお願いいたします。また、自家用車同士の接触事故にはくれぐれも御注意ください。

また、防寒着等を着用せずに制服だけで登下校する生徒がいます。体調管理の面から学校でも防寒着着用の指導を行っているところですが、御家庭でも長袖の下着着用等、御指導をお願いいたします。

当校の職員が表彰されました

新潟県教育委員会では、新潟県の教職員の意欲及び資質能力の向上を図り、学校の活性化に資するため、学校教育における教育実践等に顕著な成果をあげた教職員を毎年表彰しています。こちらについて、優秀教職員に本校の長谷川智大教諭が選出され、今年度の新潟県優秀教職員表彰式が10月27日（金）に新潟県自治会館にて行われました。長谷川智大教諭は、3年生を中心に理科を指導する傍ら、村上市理科教育センターにも在籍し、村上市全体の理科教育の発展のため日々調査等を行うとともに、自らの研鑽を積んでおります。9月には総踊り部顧問として新潟総おどりに生徒を引率し、大成功を収めております。引き続き当校の生徒にその成果を還元してほしいと思います。

また、11月3日（金）に新潟市中央区の囲碁サロン天元にて、新潟日報社、新潟県囲碁連盟主催の第65回新潟県アマチュア囲碁段位獲得戦が開催され、当校の小松田泰弘教諭が六段獲得戦にて優勝いたしました。当校には残念ながら囲碁部はありませんが、我こそはという生徒の皆さん、ぜひ挑戦してみてください。

令和5年度新潟県優秀教職員 …… 長谷川 智大 教諭

アマチュア囲碁六段獲得 …… 小松田 泰弘 教諭

12月の主な予定

4	月	メディアコントロール強調週間～10(日)まで
7	木	単元テスト
11	月	保護者面談 11～14(木)まで ※4限授業
12	火	生徒会役員選挙 立会演説会・投票(4限)
20	水	専門委員会
22	金	終業式
25	月	冬休み ～1/8(月) ★1/9(火)始業式

